

2024年11月 1日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、J Aが果たすべき社会的役割・使命と役職員の心構えなどを盛り込んだ「J A綱領」を踏まえつつ、地域に根ざした協同組合として「組合員とともに農業・地域の未来を拓く」ことを目指し、3つの基本理念に基づき事業を展開します。

1. 持続可能な地域農業の実現
2. 豊かでくらしやすい地域共生社会の実現
3. 自己改革によるJ A経営基盤の確立

という基本理念のもと、お客さまの日々変化するニーズへの対応や安定的な資産形成、「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障の提供を通じた豊かな生活づくりに貢献するため、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を制定しており、本資料はその取り組み状況を公表するものです。

- また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

古川農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注1～3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りの「コア(中核)資産」と攻めの「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

＜イメージ＞

コア
 <安定的な運用を目指す>
 バランス型ファンド
 安定型の債券ファンドなど

サテライト
 <個別ニーズに応える特選ファンドなど>

JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、**JAバンクが独自の基準で**長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資** 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料** 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績** 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性** 資産形成には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- 5 運用体制** 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

I. 取組状況

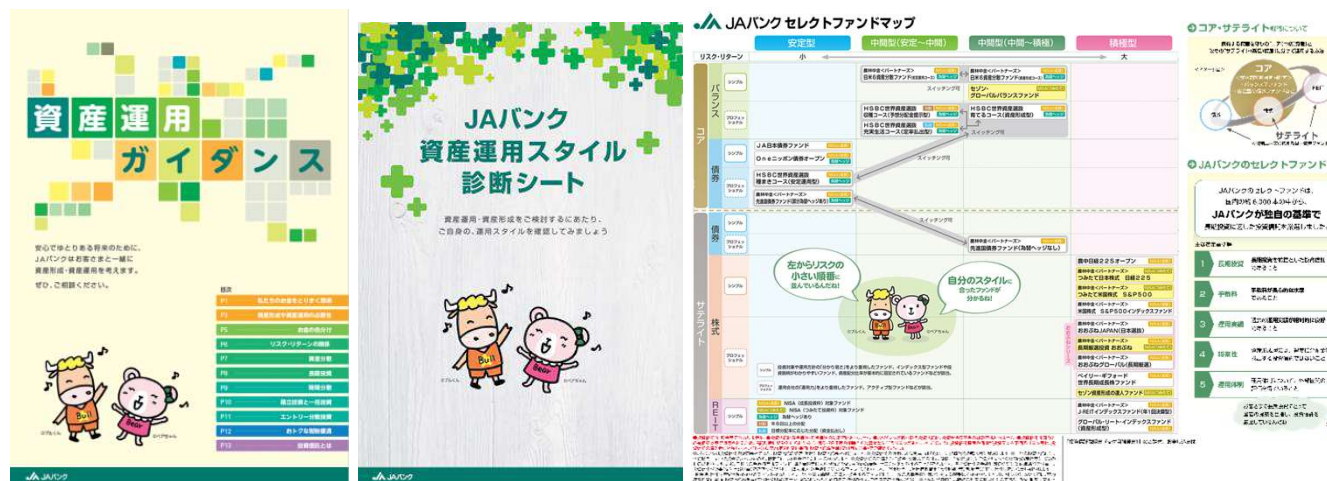
1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注1～3)】

- お客さまの金融知識・経験・財産、ライフプラン等を「資産運用ガイダンス」や「スタイル診断シート」を用いてヒアリングし、お客さまの一人ひとりのご要望に合わせた最良・最適な商品・サービスをご提案します。
- お客さまの投資判断にかかる情報提供にあたり、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項については、重要情報シート等を用いて分かりやすくご説明いたします。特にご高齢のお客さまに対しては、役席者の同席や適合性判定により理解度を十分に確認しながら丁寧な説明を実施します。
- なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。

＜活用するお客さま向けリーフレット類＞



I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注1~3)】

- ・当組合は、お客さまが、日々の生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供します。
- ・なお、当組合は、外貨建て共済等の市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

I.取組状況

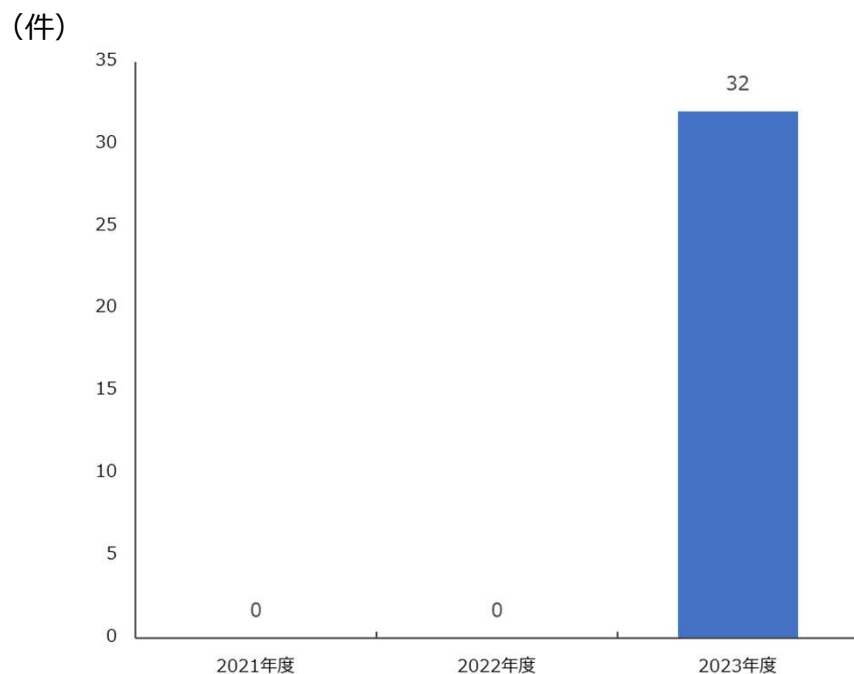
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則 2 本文および(注)、原則 5 本文および(注 1～5)、
原則 6 本文および(注 1、2、4、5)】

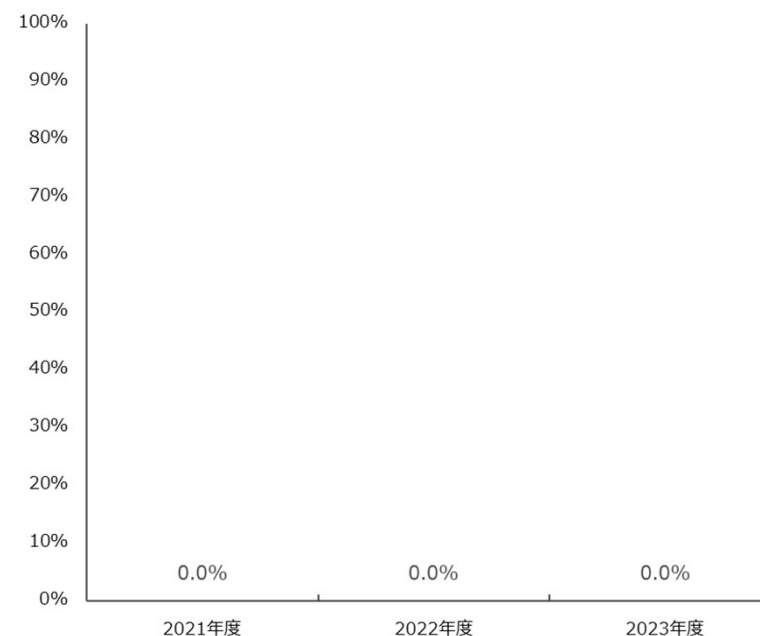
(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しております。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I. 取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

（1）信用の事業活動

- お客さまにご負担いただく手数料については、「JAバンクセレクトファンドマップ」により商品間の比較を容易にすることで、お客さまの投資判断に資するように、明確で分かりやすい説明に努めます。

JAバンク セレクトファンドマップ

	安定型	中間型(安定～中間)	中間型(中間～積極)	積極型
リスク・リターン	小			大
コア	<p>シンプル</p> <p>プロフェッショナル</p> <p>シンプル</p> <p>プロフェッショナル</p>	<p>農林中金<パートナーズ> 日本米資産分散ファンド(安定型)コース</p> <p>農林中金<パートナーズ> 日本米資産分散ファンド(積極型)コース</p> <p>セゾン・グローバルバランスファンド</p> <p>HSBC世界資産選抜 収穫コース(予定配分金提示型)</p> <p>HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)</p> <p>HSBC世界資産選抜 充実生活コース(定率払出型)</p>	<p>農林中金<パートナーズ> 日本米資産分散ファンド(積極型)コース</p> <p>セゾン・グローバルバランスファンド</p> <p>HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)</p>	
債券	<p>シンプル</p> <p>プロフェッショナル</p>	<p>JA日本債券ファンド</p> <p>On eニッポン債券オープン</p> <p>HSBC世界資産選抜 種まきコース(安定適用型)</p> <p>農林中金<パートナーズ> 先進債券ファンド(部分投信ヘッジあり)</p>	<p>農林中金<パートナーズ> 先進債券ファンド(為替ヘッジなし)</p>	
株式	<p>シンプル</p> <p>プロフェッショナル</p>	<p>農林中金<パートナーズ> 先進債券ファンド(為替ヘッジなし)</p>	<p>農林中金<パートナーズ> 先進債券ファンド(為替ヘッジなし)</p>	
REIT	<p>シンプル</p> <p>プロフェッショナル</p>			

左からリスクの小さい順番に並んでいるからね!

自分のスタイルに合ったファンドが分かるね!

③ コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りながら「コア(中核)資産」と「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

右にあるタイプの投資商品ほど高い収益が期待できる一方で、価格変動する幅も大きくなります。

④ リスクと投資カテゴリーイメージ

リスク	安定型	中間型	積極型
国内債券	国内債券	海外債券 (為替ヘッジなし)	国内株式
海外債券	海外債券 (為替ヘッジあり)	海外債券 (為替ヘッジなし)	海外株式
国内REIT			国内REIT
海外REIT			海外REIT

⑤ リスクと投資カテゴリーイメージ

リスク	安定型	中間型	積極型
国内債券	国内債券	海外債券 (為替ヘッジなし)	国内株式
海外債券	海外債券 (為替ヘッジあり)	海外債券 (為替ヘッジなし)	海外株式
国内REIT			国内REIT
海外REIT			海外REIT

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- ・お客さまに対して、各種公的保険制度等にかかる情報提供を行い、お客さま一人ひとりの加入目的やライフステージ等に応じた、最適な保障・サービスをご提案します。
- ・ご契約にあたっては、お客さまのご意向に沿い、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施します。
- ・ご高齢のお客さまに対しては、ご家族も含めてより丁寧に分かりやすくご説明し、十分ご納得・ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなどの対応を行います。
- ・なお、ご契約にあたり、共済掛金の他にお客さまにご負担いただく手数料等はございません。

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- ・当組合は、組合員・利用者の皆さまの商品選定及び保障提案にかかる情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」等を定め、本方針等に基づき適切に管理します。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

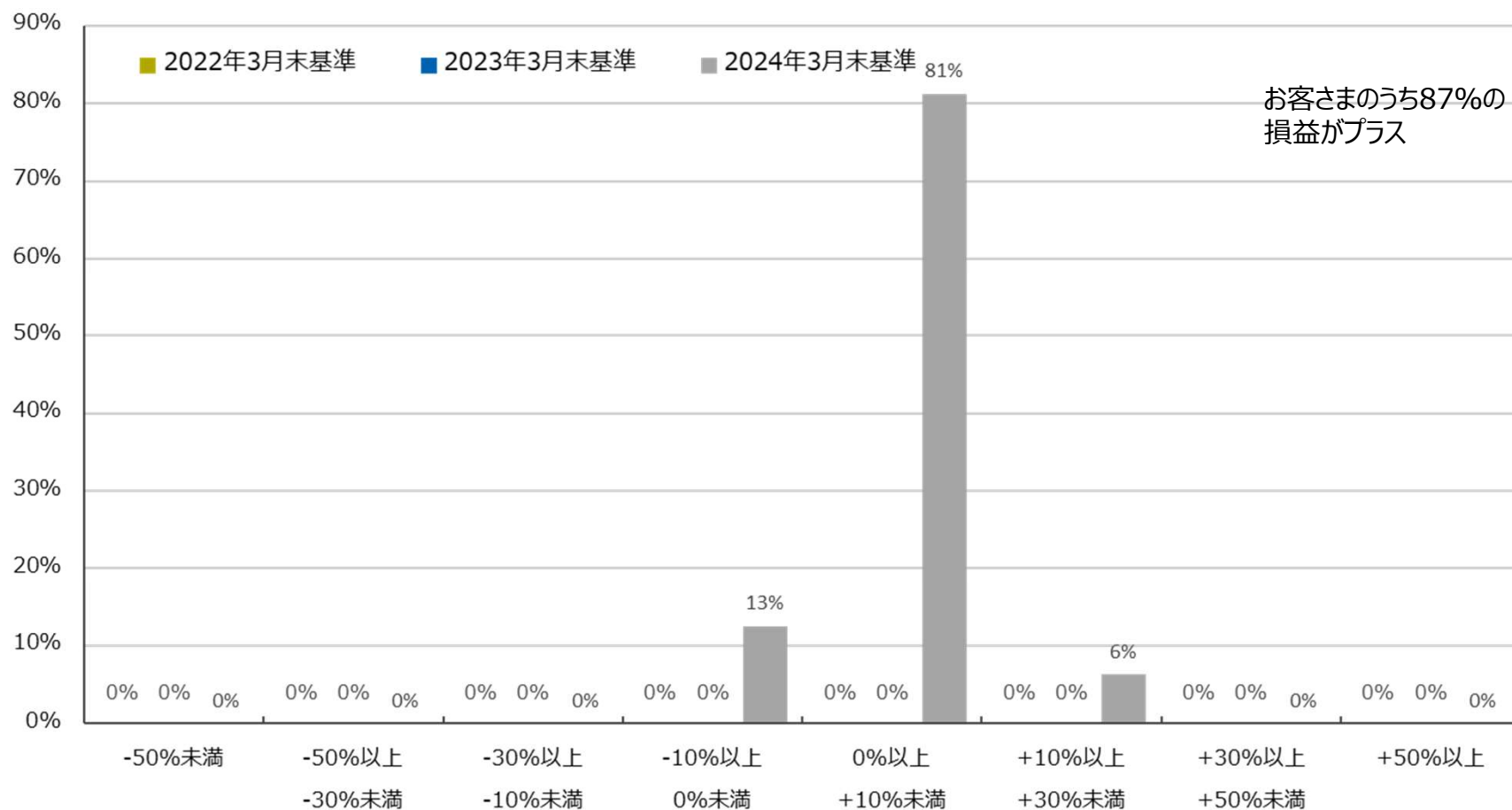
【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- ・当組合は、お客さまから信頼・満足していただける金融商品・共済仕組み・サービスを提供できるよう、高い専門知識を有する職員の育成に向け、継続的・定期的な内部研修の実施や資格取得の支援等を実施しております。
- ・また、利便性向上のための各種チャネルの整備や、お客さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、業務改善に取り組むことで、最適な金融商品、共済仕組み・サービスを提供できる態勢を構築してまいります。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の87%のお客さまの損益がプラスとなりました。

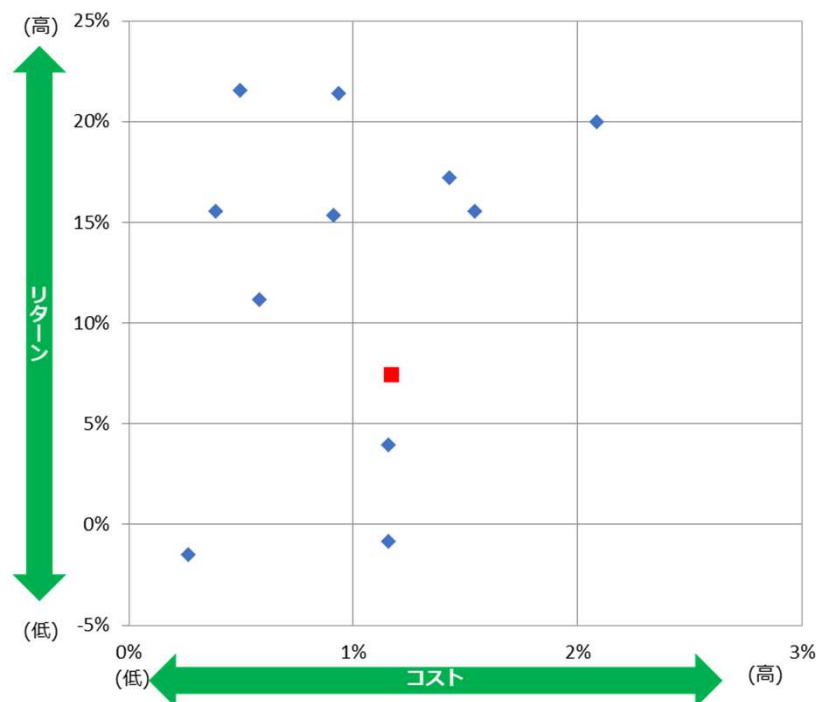


Ⅱ.比較可能な共通K P I

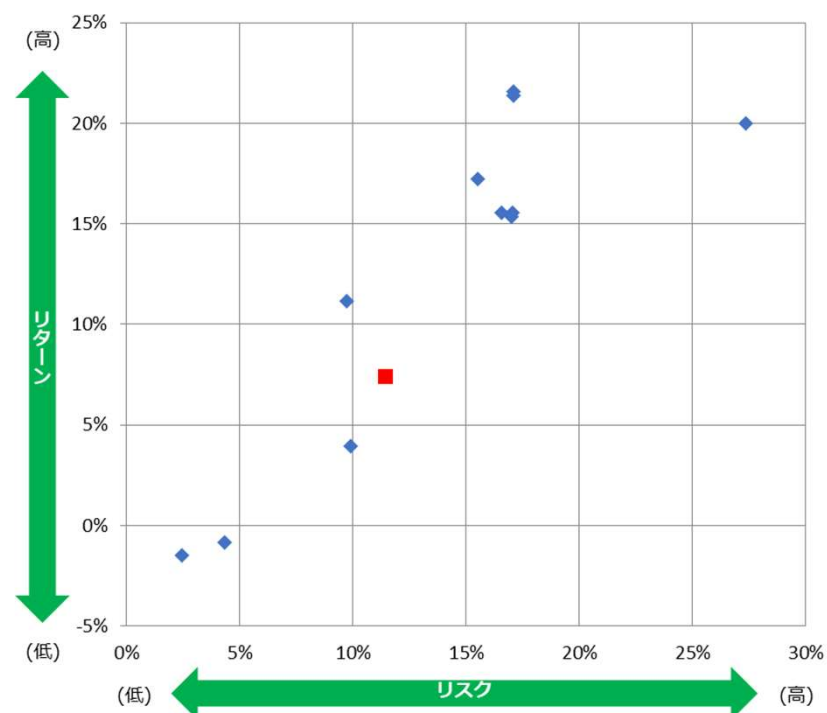
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.17%、平均リスク11.45%に対して、平均リターンは7.42%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2024年3月末)

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド*(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
3	日米6資産分散ファンド*(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
5	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
6	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
7	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
8	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
11	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.42%	11.45%	1.17%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。